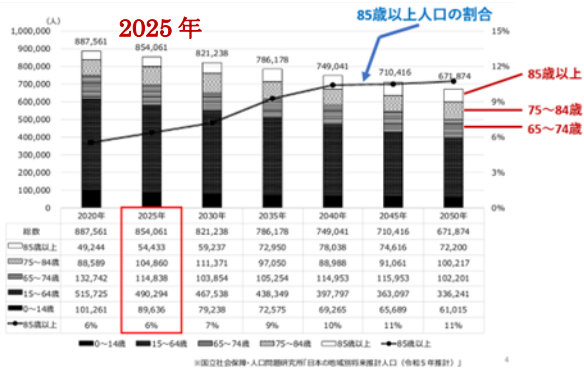


新潟圏域の年齢別人口の将来推計

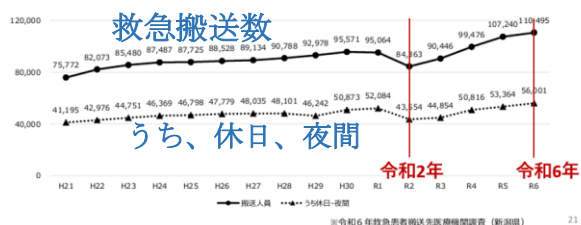


新潟県、新潟市は、人口減少が続いています。今後、総人口の減少は確実です(上グラフ)。一方、高齢者(65歳以上)の人口のピークは2040年頃と推測されています。こうした状況下、国の推計では、外来患者数のピークは今年・2025年で、以降減り続けるものと考えられています。疾患としては、高齢者に多い誤嚥性肺炎や尿路感染、大腿骨頸部骨折などは、しばらく増加するものと思われます。

新潟県・新潟市の救急搬送人員の推移をみると(下図)、コロナ禍で令和2年には救急搬送数は減ったものの、それ以降は、増え続け、今後もしばらくは、増加するものと考えられています(図・グラフは今年7月29日の新潟圏域地域医療構想調整会議での資料を改変したものです)。

新潟県の救急搬送人員の年次推移

年	新潟県全域		新潟圏域	
	救急患者搬送人員	うち休日・夜間	救急患者搬送人員	うち休日・夜間
R4	99,476人	50,816人	41,600人	21,695人
R5	107,240人	53,364人	45,426人	23,727人
R6	110,495人	56,001人	46,803人	24,763人



病院はこうした、医療需要変化に対応した、医療供給(高齢者医療、高齢者救急、在宅医療など)に今以上に、取り組んでいきたいと思ひます。

9月6日から9月8日にかけて葛塚祭りが開催されました。恒例の“灯籠押し合い”は、観客が多く、近づくのが困難でした。なお北区役所駐車場には、夜間、灯籠・山車が並べられていました(下写真;9月5日)。



葛塚祭りのほか、新潟市北区では、様々なイベントが行われています。9月23日から9月27日にかけては、ビュー福島潟で「雁迎灯・かんげいび」と称して、福島潟に飛来するオオヒシクイをモチーフにしたLEDによる巨大アートが設置されました。そのオープニングセレモニーとして、今回初めて、にいがた北青年会議所・豊栄商工会の主催で花火ショーも行われました(下写真、9月26日の新潟日報にも掲載されました)。



また、9月28日には、北区役所敷地内・周辺公共施設などで「キテ・ミテ・キタ区」と題して、キッズダンスや音楽、北区マルシェ、キッチンカーなどが出店し、賑わいを作っていました。こうした催しで、新潟市北区が住んで楽しい、住みやすい地域となることを願ひます。そのインフラの一つとして、豊栄病院も頑張りたいと思ひます。

発行責任者・文責: 豊栄病院広報係 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784